

- 1 題材名 曲想の変化を感じ取ろう（2時間）
教材名 鑑賞 「ハンガリー舞曲第5番」

2 題材について

《学習指導要領との関わり》

- B 観賞 (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。
イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。
〔共通事項〕 (1) ア 音色、リズム、速度、旋律、強弱、調、反復、変化
・思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：速度、強弱、変化

(1) 題材観

本題材は、曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことをねらいとする。

高学年の児童は、旋律、楽器の音色、音の重なりとともに、反復及びその変化など様々な音楽の特徴を捉えて聴こうとする傾向が見られる。このような実態を踏まえ、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えながら、曲想及びその変化と音楽の構造との関わりについて児童が自ら理解できるように指導を工夫していく。

(2) 指導観

これまでの鑑賞学習で、旋律の音の上がり下がりやリズム、速度や強弱などの音楽を形づくっている要素の表れ方によって、また、音楽を特徴付けている要素と音楽の仕組みとが関わり合うことによって曲想が移り変わっていくことを味わってきた。本題材では、「ハンガリー舞曲第5番」の速度、強弱、調、旋律の変化と曲想の関わりを理解し、指揮者の違う2つの演奏を聴き比べて速度や強弱を中心とした表現の違いを感じ取ることで、曲全体の曲想の変化や演奏のよさを味わえるようにしたい。

本題材で扱う「ハンガリー舞曲第5番」は、短調で全体的に速く堂々とした感じから、長調で明るく軽やかな感じになり、またはじめの旋律に戻るといふ、ア→イ→アの三部形式になっている。強弱や速度の変化、調の変化がわかりやすい。また、オーケストラ版の演奏でも指揮者によって、速度や強弱の変化による表現の違いが多くある曲である。

第1時では、まず曲全体を聴きながら Mentimeter を使って、曲を聴いてどのように感じたのか学級全員の意見を提示し、どんな言葉が多く選ばれているのか確認できるようにする。なぜその言葉が多く選ばれ、また旋律が移り変わることで選ばれる言葉が変わっていくのか理由を話し合う活動を通して、曲想の変化と速度、旋律の反復や変化、強弱、調との関わりを理解するようにする。

第2時では、異なる二人の指揮者の演奏を2種類用意し、聴き比べる。表現の仕方が違う2曲を聴き比べて気に入った演奏を選び、演奏のよさを友達と紹介し合う活動を通して、なぜその演奏が気に入ったのか音楽と形づくっている要素と結び付けて伝え合い、曲想の移り変わりを味わいながら曲のよさや面白さを感じ取れるようにしていきたい。

3 題材の目標

- 曲想及びその変化と、速度、旋律の反復や変化、強弱、調との関わりを理解する。（知識及び技能）
- 速度、強弱、変化などと曲想との関わりを考え、曲や演奏のよさなどを見出しながら曲全体を味わって聴く。（思考力、判断力、表現力等）
- 曲想の変化を味わいながら聴く学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。（学びに向かう力、人間性等）

4 評価規準 ※評価略記号 知識・技能 知 技 知技

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①知曲想及びその変化と、速度、強弱、調との関わりを理解している。	①速度、強弱、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。	①曲想の変化を味わいながら鑑賞する学習に興味・関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

5 研究の視点

【視点1】9年間を見通した学び方の共有

○比較鑑賞する

音楽的な見方・考え方を働かせながら思考力・判断力・表現力等を育み、主体的・協働的な学習に取り組むため、比較鑑賞を行う。

・気に入った演奏を選んで聴く

演奏表現の仕方が異なる2つの演奏を聴き比べて気に入った演奏を選び、その演奏が気に入った理由を考える。2つの演奏の違いを聴き比べたり選んだ演奏を何度も聴いたりすることによって、曲想が次々に移り変わる「ハンガリー舞曲第5番」のよさや面白さを感じ取ることができると考える。

・全体で比較鑑賞する

全体で比較鑑賞する際は、速度や強弱などに着目して聴いてほしいことを発表させ、2つの演奏の表現の違いが比較できるように板書をする。2人組で鑑賞して表現の違いを紹介し合うときは、紹介した部分ごとに聴き比べている。2つの演奏のよさを共有したうえで曲全体を通して聴くことによって、曲や演奏のよさを確認しながら曲全体を味わって聴くことができるようにしたい。

【視点2】音楽的な見方・考え方を働かせるための効果的な指導の手立て

○タブレットPCの活用

・Mentimeterの使用

WebアプリケーションのMentimeterを使用して、児童が曲を聴いて感じたことを共有する。Mentimeterは言葉を選択するだけで、全員の選んだ言葉がその場で表示されるアプリケーションである。どのように感じた人が多いのか、全員の意見がすぐにわかる。主な旋律が変化すると、選ぶ言葉も変わること、曲想の変化に気付かせたい。また、選ぶ言葉が変わることを視覚的に確認することで、より詳しく曲を聴く動機づけにしたい。

・鑑賞曲の個人再生

SKYMENUの発表ノートの機能を利用し、鑑賞曲を児童が各自で再生できるようにする。気になった部分を取り出して何度も聴いたり2つの演奏を部分的に聴き比べたりなど、自分のペースで演奏を聴くことができるようにしたい。

○学習形態の工夫

個人で演奏のよさを味わったあとに、2人組で演奏のよさを紹介し合う。

・同じ演奏を選んだ2人組

同じ演奏を選んだ児童で2人組をつくって紹介し合うことで、気に入った部分について共感したり一人では気付くことができなかった演奏のよさを味わったりすることができる。と考える。

- ・異なる演奏を選んだ2人組

異なる演奏を選んだ児童で2人組をつくり、演奏のよさを紹介し合う活動をする。2人で「この速度の遅くなるところが、重たく暗い感じになっていいね」「急に音が強くなる感じが、こっちの演奏の方が盛り上がる感じがして気に入った」など話し合いながら一緒に音楽を聴くことで、それぞれの演奏のよさを味わいながら、曲のよさや面白さを感じ取れるようにしていきたい。

【視点3】評価の在り方

本時では、2つの演奏を速度や強弱の変化の違いを中心に聴き比べ、表現の面白さや曲のよさを味わって聴く姿を目指している。演奏を聴きながら、速度や強弱の違いから生まれる演奏のよさを伝え合い文にまとめていくことで、思考・判断・表現している姿を見取りたい。

○ワークシートを使用して見取る

選んだ理由を速度や強弱に着目して考え、ワークシートに文章でまとめていく。音楽を形づくっている要素を提示することで、2つの演奏の違いやその面白さを速度や強弱の変化と関連付けて考えられるようにする。自分が気に入った演奏は、どんなところがよかったのか、音楽を形づくっている要素と関わらせて考えているかを見取るようにする。

【コロナ対応として】

- ・前後の距離がとれるように、座席の配置を工夫する。
- ・音楽室に入室前には、手洗い・消毒を行う。
- ・話し合い活動では、椅子1つ分距離をとり横並びで行う。

6 題材の指導計画及び評価計画（2時間扱い）（本時 2/2）

次	時配	◎ねらい　○学習内容　・学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素、 （音符、休符、記号や用語）〕	○教師の働きかけ ・目指す児童（生徒）の姿	評価規準 （評価方法）		
				知	思	態
◎曲想の変化を感じ取りながら聴く。						
第一次	第1時	○「ハンガリー舞曲第5番」の曲想の変化と速度・強弱・調の変化との関わりをつかむ。 ・旋律①～④を聴いて、感じたことを学級全体で共有し、曲想が変化していくことを確認する。 ・曲を通して聴いて、曲の構成を確認する。 ・指揮をしたり体を揺らしたりしながら聴き、速度や強弱などの変化を感じ取る。 ・旋律①②と③④を比較して聴き、調の違いを感じ取る。 ・ペアや全体で、速度、強弱、調による曲想の変化について話し合う。 ○指揮者が違う「ハンガリー舞曲第5番」を2曲聴いて、気に入った演奏を選ぶ。 ☆〔速度、旋律、強弱、調、反復、変化〕	○Mentimeterを使って、曲を聴いて感じたことをまとめることで、学級全体で共有できるようにする。 ○途中で体の動かし方を変えたり指揮を振る速さを変えたりしている児童を紹介する。 ・曲の構成がア→イ→アになっていることを理解している。 ○速度が大きく変化していると感じ取ったあと、他に大きく変化していくことはないか言葉かけをし、強弱にも注目できるようにする。 ○速度や強弱、調の変化を確かめながら、感じたこととどのように関わっているか言葉かけをすることで、感じたことと気付いたこととの関わりを理解できるようにする。 ・曲想の変化と旋律の反復、速度、強弱、調の変化との関わりについて理解している。	①知 （記述・発言）		
	第2時	○「ハンガリー舞曲第5番」の表現の違いを比べ、表現の面白さや曲のよさを味わう。 ・前時で選んだ演奏についてタブレットPCを使って聴き、どんなところが気に入ったのかワークシートにまとめる。 ・2人組をつくり、表現のよさを紹介し合う。 ・選んだ演奏の、注目して聴いてほしいところを全体で発表し合う。 ・指揮者が違う「ハンガリー舞曲第5番」を聴き、表現のおもしろさや曲のよさを味わって聴く。 ☆〔速度、強弱、変化〕	○演奏Aと演奏Bでは、同じ曲でも演奏表現の仕方が違ったことを確認する。 ○手が止まっている児童には、曲を聴くときのポイントとして、速度や強弱の違いなどを聴き比べるように助言する。 ・気に入った演奏を選んで何度も繰り返し聴き、2つの演奏の違いを感じ取っている。 ○選んだ演奏が気に入った理由や、演奏のよさを紹介しながら、音楽を聴いて確かめるようにする。 ○同じ演奏を選んだ児童同士の2人組で指定したり、違う演奏を選んだ児童同士の2人組を指定したりして、友達が感じ取ったことを知り、2つの演奏をたくさん聴けるようにする。 ・2つの演奏を聴き比べて、速度や強弱による表現の違いを感じ取ることで、曲のよさや面白さを味わって聴いている。		①（発言・観察・ワークシート）	①（記述・発言・観察）

7 本時の指導（2／2）

（1）本時の目標

「ハンガリー舞曲第5番」の表現の違いを聴き比べ、表現の面白さや曲のよさを味わって聴く。

（2）本時の展開

学習内容・学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素 (音符、休符、記号や用語)〕	○教師の働きかけ・目指す児童（生徒）の姿 ◇評価規準〈評価方法〉 ＊コロナ対応（場の設定や支援、配慮事項等）
1 前時のワークシートを見て、演奏A・演奏Bのどちらを選んだのか、どの部分の演奏が気に入ったのか確認する。	○演奏Aと演奏Bでは、同じ曲でも表現の仕方が違ったことを確認する。
演奏A・Bの違いをきき比べて、表現の違いのおもしろさを見つけよう。	
2 前時で選んだ演奏についてタブレットPCを使って聴き、演奏のどんなところが気に入ったのかワークシートにまとめる。 ・どの部分の表現がなぜ気に入ったのか、音楽を形づくっている要素と結び付けて具体的に紹介できるように文章にする。 3 ペアをつくり、表現のよさを紹介し合う。 ・同じ演奏を選んだ児童でペアをつくり、なぜその演奏が気に入ったのか理由を紹介し合い、タブレットPCを使って一緒に聴いて演奏のよさを味わう。 ・別の演奏を選んだ児童でペアをつくり、なぜその演奏が気に入ったのか理由を紹介し合い、タブレットPCを使って一緒に聴いて演奏のよさを味わう。 ☆〔速度、強弱、変化〕	○どの部分の表現がなぜ気に入ったのか、音楽を形づくっている要素と結び付けて具体的に書くように伝える。 ○手が止まっている児童には、曲を聴くときのポイントとして、速度や強弱の違いなどを聴き比べるように助言する。 ○あらかじめ同じ演奏を選んだ児童同士、別の演奏を選んだ児童同士のペアを指定する。 ○イヤフォンスプリッターを渡しペアの子と一緒に聴くことで、表現のよさを確認できるようにする。 ＊ペアで話し合うときに、椅子1つ分距離をとり横並びで話し合いをするように伝える。
◇曲想の変化を味わいながら鑑賞する学習に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (主体的に取り組む態度) 〈行動観察・ワークシート〉	
4 選んだ演奏のよさや面白さを、全体で紹介する。 ・ぜひ注目して聴いてほしいことを発表し、2曲を聴くときの参考にする。	○児童が発表したことを板書し、学級全体で2つの演奏を聴き比べる際に見ることができるようにする。
5 学級全体で演奏A・演奏Bを聴いて、表現の面白さや曲のよさを味わって聴く。 ☆〔速度、強弱、変化〕	○音楽を形づくっている要素や感じたことを確認しながら聴くことができるように、音楽の流れに合わせて板書したことを指し示す。
○2つの演奏による表現の違いから、どちらの演奏もそれぞれのよさがあることを伝える。 ◇速度、強弱、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 (思考・判断・表現) 〈行動観察・ワークシート〉	